

カトリック八尾教会ニュース



しゅ こうたん
主のご降誕と
しんねん よろこ
新年のお慶びを
もう あ
申し上げます



2023年1月

Tháng một

【今月の予定】

ミサの時間

1日(日・祭) 神の母聖マリア<世界平和の日>	9:00	①グループ(A+B地区+ベトナム①)
↳「結婚記念の祝福」	11:00	②グループ(C地区+ベトナム②+③)
8日(日・祭) 主の公現	9:00	②グループ(C地区+ベトナム②+③)
	11:00	①グループ(A+B地区+ベトナム①)
9日(月・祝) 主の洗礼	-----	
15日(日) 年間第2主日	9:00	①グループ(A+B地区+ベトナム①)
「新成人の祝福」	11:00	②グループ(C地区+ベトナム②+③)
ベトナム語のミサ	15:00	
17日(火) 教区新生の日 <1. 17>		
18日(月)~25日(水) <キリスト教一致祈禱週間>		*世界に広がる教会が心を合わせて、
		キリスト者の一致を祈ります。(ポスター及び小冊子をご覧ください。)
21日(土) 初聖体勉強会	14:00	
信仰講座	16:00	
22日(日) 年間第3主日(神のことばの主日)	9:00	②グループ(C地区+ベトナム②+③)
	11:00	①グループ(A+B地区+ベトナム①)
28日(土) 聖トマス・アキナス司祭教会博士		まえだまんようだいしきょうれいめい 前田万葉大司教霊名
29日(日) 年間第4主日	9:00	グループ合同通常ミサ
↳世界子ども助け合いの日(献金)	11:00	グループ合同子どもと共に捧げるミサ
	14:00	ブロック会議(枚岡教会)

【平日のミサ】

木曜日 10:00

*今月はお休みです。

【お知らせ】

◎崔主任司祭は研修のため、1/12(木)~1/19(木)不在となります。

- ・緊急連絡等はスタッフへご連絡ください。(連絡先は地区連絡網に掲載)
- ・1/15(日)ミサ司式は明石健次司祭が代行予定。

◎第五週目のミサについて

- ・グループ合同のミサとなり、9時のミサは『通常ミサ』。11時のミサは子どもを中心とした『子どもとともにささげるミサ』となります。



たいこうせつもくそうかい さんか
■待降節黙想会に参加して 12月4日(日)10:15~10:45

もくそうかい たいこうせつ さま たんじょう ま わたし ひごろ かみさま であ
黙想会では、待降節にイエス様のご誕生を待つにあたり、私たちが日頃どのように神様と出
会っているかを考える時間となりました。

びょうき こんなん できごと まえ ふか かみさま たいわ チェしんぶさま じしん たいけん はな
病気や困難な出来事を前にしたとき、深く神様と対話したと崔神父様はご自身の体験をお話しく
ださいました。数々の辛いご経験をされ、なぜ神様はこのようなことを、と問いたくなることもあ
るが、それでもなお全てを委ねられるほどに神様は嘘や偽りがなく私たちに魅了するのだとお話
くださいます。そのように全てを神様に委ねられる神父様の生き方をお聞きし、深く考えさせられました。また、仕事で関わる取引先の人にも
加減することなく、その人がイエス様であると思つて接してほしいと仰
います。自分と神様との関係を振り返り、普段の生活・仕事の中で出会う
人々に真心込めて接し続けることが、幼子イエス様をお迎えするための
心の準備なのだと思います。(信徒 A.M.)



き
■★★ちょっと 聞いて★★

かまがさき 炊きだし しえん さんか かんが
『釜ヶ崎炊き出し支援に参加して考えたこと』 (南地区社会活動委員会)

10月8日土曜日に大阪南地区河内ブロックの社会活動委員3名で、釜ヶ崎の「勝ち取る会」が
実施している炊き出し活動に参加してきました。私はコロナの蔓延以降初めての参加でしたので、
コロナの影響はどうかしらと考えていましたが、炊出しで提供された肉入り野菜丼は400
食弱ほどで以前とそれほど違いはありませんでしたが、感染防止の配慮がされていることは以前
と大きく違うところでした。また、食事を作る場所の足場が悪く、補強が必要だと感じました。

大阪南地区は河内・堺・玉造・阿倍野ブロックからなっており、その中に釜ヶ崎地区が含ま
れていることもあって、社会活動委員会の総意で2005年12月、全信徒に釜ヶ崎炊き出し支援活動
を呼びかけ実施してきたと聞いています。それに伴い各小教区で釜ヶ崎の炊き出しのための募金
を募り、月に一度、活動に必要な資金を持参し、「勝ち取る会」主催者にお渡しし、一緒に炊き出
し活動をしていました。当時は1回で1000食ほどの炊き出しだったようです。コロナが蔓延した
2019年、炊き出し活動が縮小したため、しばらく支援金をストップしていましたが、今年9月よ
り「勝ち取る会」からの依頼で大阪南地区の支援を再開することになりました。再開にあたり、
今までは現金を直接届けていましたが、銀行振込を利用することになりました。しかし、社会活動
委員会会議では、実際に炊き出し活動をしている現場を見ないでお金だけ振り込むだけでいいのだ
ろうか、やはり、現場を見て、今の釜ヶ崎の現状を見て、「ともに食事をする時間を大切にす
る」支援が必要ではないかとの意見が大多数となったため、今後は、支援金を現金で渡していたときと
同様に、順番に活動に参加することを継続して行くこととなりました。

私は、今までも個人として、炊き出しやその他の社会活動に参加したいという思いを持ってい
ました。今回、今後の支援活動のあり方について話し合い、その上で炊き出し活動に参加したこ
は、各小教区の社会活動委員の役割について考えるいい機会でした。それは自分が活動に参加
することや募金集めをするだけでなく、「いま釜ヶ崎は炊き出しに〇〇名ぐらい並んでいるよ」「お
年寄りが多かったよ」「若い人もいたよ」「女性もいらっしやったよ」「こんなことで困っているよ
うだったよ」という実際に参加して見たり聞いたりした現場の生の様子を、教会で皆さんに伝え

ることであり、「支援者は子どもさんも来ていたよ。」「学生さんの参加も多いと聞いているよ」
「支援者も高齢者が多かったな」だから次回は参加しないかと声をかけることである、ということが
が小教区での社会活動委員の役割なのだとあらためて認識したことです。

これから、大阪の同じ地区に暮らす仲間として釜ヶ崎の現状を伝え、活動と呼びかけていき
たいと思います。 (「シナピスニュースレター12月号」より)

■ 小教区臨時評議会がありました

12月11日(日)12:00~13:00

【協議事項】

1. 四旬節黙想会について

・前回のブロック連絡会で司祭チームより、合同黙想会の提案があった。それを受け、典礼委員会
でも討議され、司祭の減少のため、合同黙想会を計画して良いのではないかと提案された。ま
た、ベトナム人への言葉の問題も考慮すべきではないかとの意見も出た。

2. 新グループ分けのミサや子どもとともにささげるミサについて

・新グループ分けによって、毎週ミサに参加できるようになり、二グループ合計で、約100
~120名の参加数となっている。(一グループで90名を超えていない。)

・第五週日曜日は子どもとともにささげるミサとしているが、子どものミサを二グループに分か
れてするのは、子どもの参加状況をみると難しいため、子どものミサを一回にして欲しい。

→9時のミサをグループ合同通常ミサ。11時のミサをグループ合同子どもとともにささげる
ミサとする。状況をみて、問題があれば、今後検討していく。

・24日クリスマス夜半ミサについては事前受付により、人数把握ができるが、当日の参加者の
対応としては、下のホールを有効に活用し、出来るだけ参加者の受け入れをする。また、車利用
台数が増えると予想される。駐車場整理を行事委員会中心にベトナムの方の協力を願う。

3. コピー機の商品価格改定にあたり、リースの見直しについて

・2023年1月からのコピー機値上げに伴い、新しい2台のコピー機のリースの提案があった。
コピー機のリース料は、低価格で月額19,700円(年額236,400円)となり、2023
年1月以降のリース料は月額22,900円(年額274,800円)になる。

現在のコピー機の使用年数は8年を過ぎ、コピー機は5年リースで月額12,960円だったが
(年額155,520円)、2019年10月からは1年ごとの再リース契約になり、リース料は
年額15,840円となっている。5年を経過してリース料は低価格で、メンテナンスもあるた
め、使用できる間は現在のコピー機を使用する。

4. その他

・コロナ禍、人数制限と参加者把握のため、ミサ出席票の提出をお願いしてきたが、今年に
入り、コロナ対策の規制が緩和されてきているため、ミサ出席票の提出を年内で終了して
はどうか。 →ミサ出席票は終了し、受付にて人数把握などをを行う。

・今年が聖家族の祝日が30日(金)となるため、毎年行っている『結婚記念の祝福』を

1/1(日)のミサで行ってはどうか。 →該当者がおられれば行う。

・崔司祭より：1/15(日)は崔司祭が不在のため、明石司祭にミサを依頼した。

・信徒館司祭室に暖房器具(オイルヒーター)と加湿器購入。費用は33,960円。 以上

いちにち

チェ ジュヨンシンフ
崔 周永神父

静かな夜だ。先ほど洗濯物を干して、ようやく一日が終わった。事務局から上がると、部屋に戻って先ず CD プレイヤーをオンにする。バド・パウエルのピアノ演奏を聴きながら、お湯を沸かし、お茶を淹れる。ユーチューブを開き、気に入りの映像を探す。ファッションや料理、戦争史、音楽関連もの、クラシック映画関連などを 30分から 1時間くらい視聴する。その間、食事の支度をする。スポティファイの音楽に切り替えて、ジャガイモを洗い、玉ねぎを切り、トースターに入れる。レンジにご飯をチンして、マヨネーズを入れてえごま油を少し垂らして食べる。マヨネーズの良いものが見つかったので、最近ではマヨラーのオーラぷんぷんの食生活になった。ご飯に雑ぜるやサラダを作るがあくまでもマヨネーズを食べるための言い訳なのだ。お蔭で野菜がより取れるようになった。幸い、体重も少し戻り、50キログラムをちょっと超えた。



一日の疲れのあまり、1時間くらい横になって寝るのが、ユーチューブサーフィンと食事が済んだ後の自然な流れになった。8時20分頃、また起きてはライディングの用意をする。外は寒い。サイクルウェアを着用しながら、今日はどのようなライディングになるか想像してみる。毎日同じコースを走る。変わるものと変わらないものに出会う。逆走する自転車に乗った人やすれすれ横を抜けていく荒い運転のトラック、路地に入って交通信号違反者を待ち伏せしているパトカー、原付に乗って先を急ぐ人、轟音を出している暴走族、夜間工事現場での安全警備員、時には酔っ払いも。2時間くらいのライディングの後、買い物をする。お水を、野菜を、コーヒーを、お茶を、お餅を買う。勿論マヨネーズも。

部屋に帰ったら、自転車の手入れをする。雑巾で汚れを取るのだ。車輪のタイヤも綺麗に拭く。シャワーをする。洗濯機を回す。この間、ずっと音楽を流す。スポティファイやユーチューブの音楽、時にはサウンドクラウドを開き、色々な音楽を聴く。しかし、そのつもりなのが、大体、好きな曲は決まっている。60年代のジャズ、70年代と80年代のロックやソウル、90年代の韓国の歌謡、BTS、バッハ、ヘンデルなど。

もし、環境に恵まれていたら画家になりたかった。イメージが大好きで、心や魂の様子を描きたい。ゴッホが好きで、彼の芸術へ捧げた人生自体をこよなく愛する。尊敬する。惜しみなく自分の全てをキャンバスに注ぎ込んだ彼、その作品を見ていると、描いた油絵のタッチを目でなぞっていると、彼の精神に、魂に触れるような気がする。その人生は長くはなかったが、永遠に作品を通して生きている。彼が見つめていたキャンバスの隅々に、絵油に変わった魂が形取られている。色彩が塊になり、我らの心を掴む。すべてを捧げ尽くした芸術家、彼の努力と労苦こそ、我らを感動させる。

自分の生き方が、ゴッホと似たものになって欲しい。この一日というキャンバスに、あらゆる工夫をした色彩で、惜しまず、全身全力で描いていく、時には優しく、時には激しく。そういった一日の積み重ねの後、ようやく永遠の安息に入るだろう。神様のもとに戻れるだろう。捧げ尽くし、与え尽くした後、枯れた体と少しの痕跡を残して。しかし、それも間もなく消え失せる。幸せだ。終わりがあって、ずっと眠れる時が来るのが。